

# 快護通信

A good care makes a good smile. A good smile induces happiness.

2023年  
12月発行  
発行人光洋



株式会社光洋 オンリーワンケア事業部

株式会社光洋 ●〒236-0004 横浜市金沢区福浦 1-5-1 ●Tel.045-701-2210

紙おむつの  
あて方ムービー



「排泄ケアお役立ち情報をご案内中」

光洋

検索

http://www.koyo.jp



64号

## もれの原因を探ろう！！

皆さんが日々排泄介助を行う上で一番お困りになること、それは“おむつからのもれ”ではないでしょうか？  
今回はその“もれ”をテーマにお話をさせていただきます。

### 《事例》

男性に陰部巻きをしているが、もれるためお腹にもう一枚パッドを横あてすることでもれないように対応している。

現場でとてもよく見るもれ防止対策です。

しかしこれは、アウターや衣類までのもれを防いでいるに過ぎません。巻いているパッドからのもれは防げていないため、根本的な解決になっていないどころか、利用者の着け心地が悪くなったり、スキントラブルを引き起こしたり、コスト面にも影響が出てしまうだけです。

### もれには原因がある

もれには必ず原因があります。

考えられるもれの原因としては、下記が挙げられます（表①）。

表①

考えられるもれの原因		
不適切なあて方	サイズ不適合	多量の下痢便
吸収量オーバー	おむついじり	その他

もれの原因を追究（把握）せずに、もれが起きているという現状だけに対応していても根本的な解決には繋がりません。「なぜもれるのか？」「もれの原因は何なのか？」、「どこからもれが生じているのか？」ということ突き止めるためにも、しっかりアセスメントを行いましょう。

表②

尿もれ・便もれチェック表	
1月 1日 日曜日 時間 21:00 記入者 光洋花子	201号室 光洋 太郎 様 ・定時交換時 ・定時交換時以外(理由: 体位変換時もれがあり交換)
状況: 尿もれ・便もれ 身体の向き: 仰 左・右・その他( ) 使用したパッド: オンリーワンワイド 尿量: 620g 備考欄: 広いほうを前にして使用したが左前もれ。衣類・シーツまで交換。後ろは全然濡れていなかった。	パッド おむつ 前 前
月 日 曜日 時間 : 記入者	号室 : 定時交換時 : 定時交換時以外(理由: )
状況: 尿もれ・便もれ 身体の向き: 仰 左・右・その他( ) 使用したパッド: 尿量: g 備考欄:	パッド おむつ 前 前

### もれへのアセスメント

もれの原因追及のためのアセスメントのポイントは3つです。

#### ①尿測

使用しているパッドの吸収量が足りているのかを確認します。吸収量を超えてしまっている場合は尿量に合わせてパッドの吸収量が大きいものへ変更するか、交換時間を変更するなど行います。吸収量に余裕があるのにもれている場合は尿量以外に原因があります。

#### ②もれチェック表の活用

（表②）にもれの箇所・おむつのあたっている状態・いじりの有無、対応したスタッフ・利用者の身体の向きなどを記入し、もれが生じた際の状態を分析します。同じような状況が続いていた場合、原因がつかめてくるため対応方法が明確になります。光洋もれチェック表（表②）を参考にしてください。

#### ③もれチャート表の活用

もれチェック表と合わせて活用していただきたいのがもれ見極めチャート（表③）です。チェック表での分析と照らし合わせてチャートを行うことで、対策が具体的になります。

例えば、もれの原因が「アウターのサイズが身体に合っていない」と分かればワンサイズ下げることでもれが収まります。「手技」だと分かれば、対応したスタッフのあて方手技を確認し、しっかり出来るまで教えていけばよいのです。特にスタッフのあて方手技確認は、もれの原因を探るうえで必要不可欠です。なぜなら、もれの原因の約60%はあて方だからです(当社調べ)。

### もれゼロを目指して…

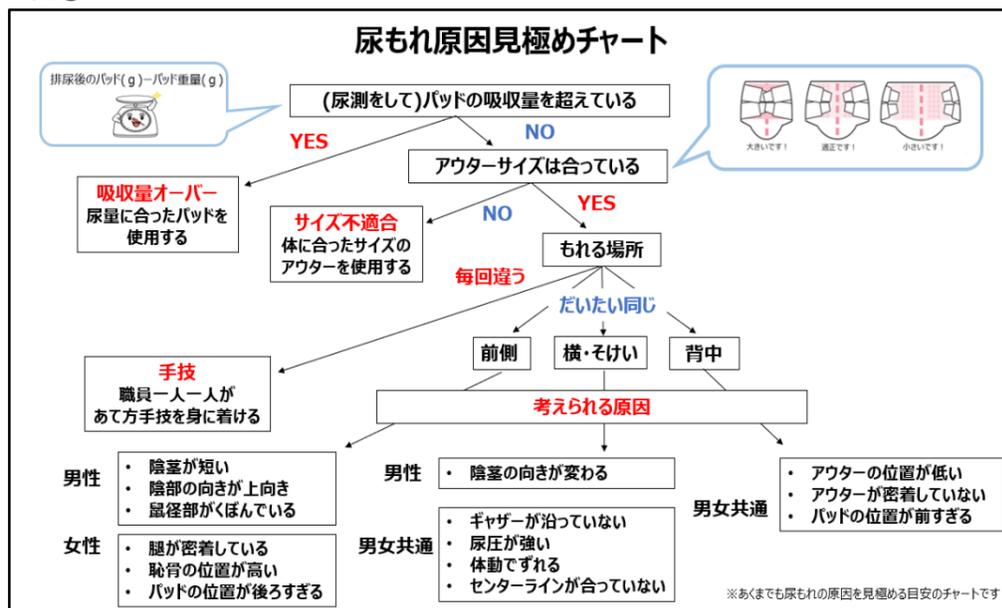
もれの原因を探り根本から解決することは、利用者の快適性向上に繋がり、笑顔を増やすことが出来、皆さんのやりがいや喜びにも繋がっていきます。

また、もれがなくなればおむつから紙パンツへ、紙パンツから下着へと変えていける方も多くなるはずですよ。

おむつに頼らない生活の実現に向けて、ぜひもれゼロを目指してみてください！

※「光洋もれチェック表」「光洋尿もれ原因見極めチャート」をご希望の方は担当営業までお問合せ下さい。

表③



# 🌻 在宅ケアを支え続けて…トッパケア 訪問介護・介護用品センター様

「光洋さんのおむつ良いって聞いたんですけど」  
その1本のお電話から、大阪府高槻市にあるトッパケア  
訪問介護・介護用品センター様（以下トッパケア様）と  
のお付き合いが始まり、今年で17年になります。トッパ  
ケア様では訪問介護スタッフの方々に排泄で困っている  
お客様へ光洋製品のご紹介をして頂いています。  
一在宅では排泄ケアにおいてどのようなお困りごとがあ  
りますか

サービス提供責任者 足立さん：在宅では訪問回数が限ら  
れるため、交換の間隔が14時間を超えることもあります。  
もれにより洗濯物が増え、家族が困っている時はもれの  
解決と一緒に取り組むことにしています。夜間の尿量が  
多く市販品のパッドでは吸収量が足りない場合はエキス  
トラワイドを使用し、あて方が難しく隙間ができる場合  
はさらさらスリムをその人にあった形状に工夫して隙間  
もれを解消していきます。先日もサンプルを試された家  
族より「やっぱりあのおむつ買いたい」と連絡を頂き、  
利用者はもちろん、家族の負担軽減のお手伝いもできた

ことが嬉しかったです。今では、エキストラワイドも  
「夜は紫のアレやな」と家族が言ってくれるほど“ア  
レ”大活躍です。

このように、私達がその人に合った使い方をアドバイス  
できるのは、光洋が開催している排泄研修に参加し、製  
品の使い方・利用者ごとのお悩みに対して個別に助言を  
をもらっているおかげだと思います。

一トッパケア様の今後の展望をお聞かせください

介護用品センター中岸副部長：訪問介護センターでは月  
に1度様々なテーマで研修を開催しております。

その中でも排泄研修の関心度は高く、おむつを上手にあ  
てられるようになりたい、利用者に快適に過ごしてもら  
いたい、という意欲があります。

排泄ケアが苦手な職員も困難事例に果敢に取り組み解決  
策を見出すようになってきました。これからも訪問介護・  
介護用品の連携を強化し、在宅サービスの質向上を目指  
し、理念である「お客様の喜びはわが喜び」をモットー  
に地域に貢献していきたいと思っております。



サービス提供責任者の皆様  
(下段右下が足立様)



利用者を想定した事例検討

## 高齢者施設における排泄ケア取り組みレポート

### 光洋マイスター認定14号取得！ 社会福祉法人和光会 特別養護老人ホーム ナーシングケア寺田様

岐阜県にある、特養ナーシングケア寺田様では  
ユニットリーダー10名が約1年半に渡る研修を  
終え、2023年8月24日に認定となりました。  
今までは、ユニットごとに排泄ケアを考え工夫  
をしていたため、施設での統一が図れていま  
せんでしたが、マイスター研修でケアの根拠を学  
び、ユニットメンバーにあて方指導を行ったこ  
とから、皆の排泄に対する意識も高まり、施設  
全体に統一感が生まれました。  
そして、その甲斐あってコロナ禍の影響で大型  
パッドの使用量が増え上がっていたコストを、  
月間約10万円削減することができました。

また、排泄の自立や、頻尿・スキントラブルの  
改善など、各自が行ったケアアプローチの成果  
を他のユニットに波及するため資料にまとめ共  
有しています。

一マイスター期間中サポート役を担って頂いた  
水谷施設長からお話しを伺いました。

「長かったけど、よくチームワークをとってや  
り遂げてくれました。経験の長いリーダーが原  
点に戻りケアを見つめ直す良い機会でした。こ  
の認定をゴールと思わず、利用者のためにもこ  
の経験を日々の排泄ケアに活かして欲しいと思  
います。」



写真上段左から：山田さん・番場さん・杉山さん  
武藤さん・梅村さん・小酒井さん  
写真下段左から：石原さん・恩田主任・水谷施設長  
北条さん・早川さん

光洋も、2期生育成という次のステージもサポ  
ートして参ります。一緒にまた頑張りましょう！

### 光洋マイスター2期生認定！ 社会福祉法人 協同福祉会 特別養護老人ホーム ほなみ様

今回2期生の認定を終えた特別養護老人ホームほ  
なみ様は2022年9月にマイスター第9号を取得  
しています。

一マイスター研修に参加したきっかけは？

野代さん：20年以上介護の仕事をしているが、  
また1から排泄について学んでみたいと思い参  
加しました。

一研修を行っていくうえで大変だったことは？

菅原さん：テストが大変でした。ここ何年間で  
一番頭を使い、勉強しました。でもその甲斐  
あってしっかり身に着ける事ができました。

一マイスターに参加して一番良かった事は？

角田さん：自分の手技を意識するようになりま  
した。一つ一つ、ちゃんとできているか確認し  
てケアを行う癖がついたというか。

一自分の中で変化を感じますか？

東城さん：自信をもってアドバイスができるよ  
うになったことで訪問介護に移動になったの  
で、在宅ケアにも生かせるようにしていきたい  
です。

一今後どのような活動をしていきたいですか？

井上さん：手技の統一を図っていきたいです。

また、皆が同じように、同じレベルで排泄ケア  
に取り組んでいけるようにしていきたいです。

一4月から3期生の研修が始まります。3期生の  
皆さんにぜひ一言お願いします

原口さん：大変だったけど、必ずやってよかつ  
たと思えるはず。私たちも協力するので認定目  
指してがんばりましょう！1期生の丸橋さんは  
「今は根拠を持ったケアを心掛けるようにして



写真上段左から：菅原さん・野代さん・井上さん  
写真下段左から：角田さん・東城さん・原口さん

います、スタッフに教えるときも“なぜそうなの  
か”を明確にして伝えていきます」とおっしゃ  
います。同じく一期生の小川さんは「スタッフ  
から“マイスターなんだから”とみられている  
のでプレッシャーがあったけど、今ではそれも  
成長の一つと考えています」とおっしゃいます。  
とても前向きなマイスターの皆さん、今後も活  
躍を応援しています！